



テストイベント業務委託について

大会準備運営第一局

2018年06月06日

1. テストイベントの実施予定

◆テストイベント実施予定◆

テストイベントは2018年9月～2020年5月までに**62イベント**が開催される。

準備、運営を同時多発的に実施していく必要がある。



- ・テストイベントは規模の大小に関わらず、Tokyo2020大会の運営を想定したテストをする必要がある。

◆TEMの役割◆

適正なテストイベントを実施し、各FAが効果的にテストを実施できるようにする。また本大会へフィードバックをおこなう。

テストイベント統括管理

- ・関係FAや会場調整室等との連携、調整
- ・各テストイベントの進捗管理
- ・テストイベント全体管理

テストイベント予算管理

- ・各テストイベントごとの予算管理
- ・テストイベント全体枠での予算管理

本大会へのフィードバック

- ・ホットデブリーフィングの実施
(テストイベント時)
- ・コールドデブリーフィングの実施
(テストイベント終了後)

2. 外部委託の必要性

テストイベントを行う際に必要な項目	課題	外部委託のメリット
✓ IF/NF等、ステークホルダーとの調整	組織委員会主催の場合、競技運営はIF・NFの協力が最大限必要である。	大会運営と競技運営を取りまとめることは難易度の高い調整でありイベント経験がないと難しい。
✓ FA間の重複、抜け漏れ業務の精査、調整	本大会も含め各FAで業務検討を重ねているため、FA間の業務重複、抜け漏れが起こっている可能性がある。	事業者の経験則に基づき各FA間の業務内容の重複や抜け漏れを効率的かつ適切に精査することができる。
✓ 本大会に向けた改善、修正の検討	テストイベントは本大会に向けた大会運営テストプログラムである。	本大会でも業務委託が必要となる。テストイベントにて本大会を見据え業務委託内容および運営体制をテストするのが効率的である。

実態に則した計画の策定をしていく中で、本大会を見据えた実施体制にてテストを行うことができる。

結果として本大会のサービスレベルの調整や経験則に基づいた適切な人員体制（人員削減）やコスト削減につなげることも期待できる。

国際大会、各競技大会の実施経験がある事業者への外部委託が効果的である。

※留意事項：適切な委託事業者を早めに確保することが重要である。時期を逸すると対応できる事業者がいなくなってしまう。

3. テストイベント実施における考え方

テストイベントは本大会の運営能力を高めることを目的に実施をするものであり、本大会計画を把握したうえで、テストイベントの計画を立案し、実施する必要がある。

本大会の計画の把握

- ・各 F A で立案している本大会の計画を把握し、精査をおこなう。
(各競技ごとのサービスレベルの検討等)

テストイベントの計画

- ・専門的な知見から、組織委員会が検討をしているテスト項目についてのアドバイスなどをおこない、適正なテストイベントを実施するための計画を立案する。

テストイベントの実施

- ・会場全体の各種調整など、F A がテストをしやすい環境を提供し、テストイベントを効果的な内容で実施できるようにする。また、実施業務の一部を担当する。

本大会へのフィードバック

- ・テストイベントの実施結果を踏まえ、本大会で修正すべき項目を整理し、大会運営能力向上に向けたフィードバックをおこなう。

4. 計画業務委託内容

本大会計画を把握・精査した上で、テストイベントの計画業務を立案する。

(1) 事業計画の立案業務

組織委員会が計画するテストイベントの要件を把握し、適正なテストイベントを実施するための各種計画を立案する。

- ①大会実施概要の策定
- ②大会実施スケジュールの策定
- ③実施のために必要な各種計画（関連FAはテストをしないが、イベント実施のために必要な要件の計画）
※会場計画（ゾーニング、オーバーレイ、諸室利用、サイン、備品等）、輸送計画、宿泊計画等を予定

(2) 事業計画の支援業務

本大会に向けて作成する各種計画を精査し、テストイベント計画の立案を支援する。

- ①競技運営計画（競技エリア、競技備品、人員配置等）
- ②会場運営計画（人員配置、役割分担、危機管理対応等）
- ③会場計画（ゾーニング、オーバーレイ計画等）

(3) テストイベント実施のための予算立案と本大会のコスト最適化に向けた手法提案

(4) テストイベントの実施運営体制の構築と本大会の実施運営体制の素案作り

(5) 計画立案のための関係者調整支援業務

5. テストイベント計画業務の主催別業務委託内容

<組織委員会主催>

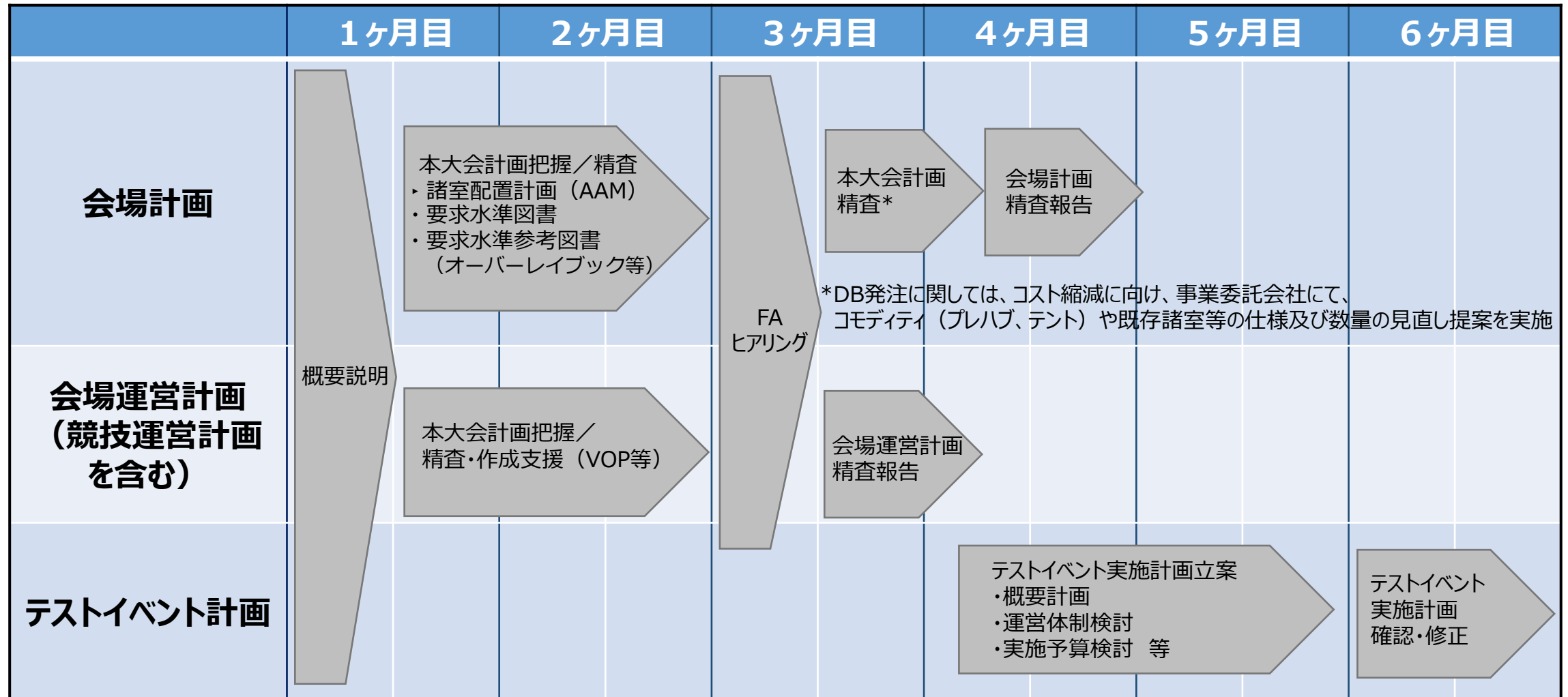


<IF/NF主催>



IF/NF主催のイベントにおいては、組織委員会主催イベントより、テストイベント計画立案の範囲は少なくなる、ただし、競技によって範囲が異なるため、個別に検討をしていく。

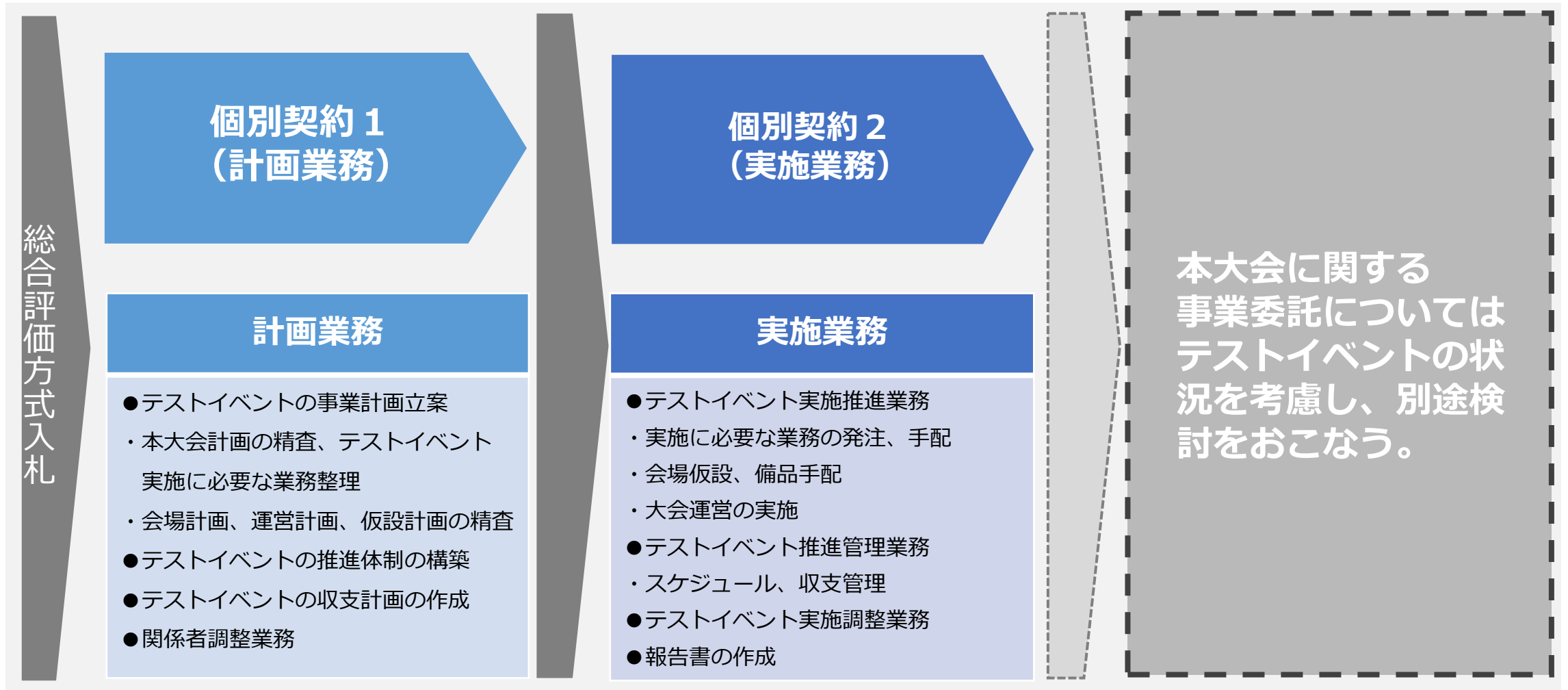
6. 契約後の推進スケジュール（案）



※ 上記は基本的なスケジュールであり、会場・競技の進捗状況により推進スケジュールは異なる。

7. 調達方法

調達プロセス



8. テストイベント業務委託 一覧表

	パッケージ数	会場数	競技数
第一次発注	4 パッケージ	6 会場	1 6 競技
第二次発注	2 パッケージ	2 会場	2 競技
第三次発注	7 パッケージ	1 0 会場	1 5 競技
第四次発注	1 3 パッケージ	1 5 会場	1 7 競技
合計	2 6 パッケージ	3 3 会場	5 0 競技

9. 第一次発注競技 (4パッケージ/6会場/16競技)

会場名	競技名 ※はIF/NF主催を想定。
東京国際フォーラム	ウエイトリフティング【O】
	パラパワーリフティング【P】
幕張メッセ	レスリング【O】
	ゴールボール【P】
	テコンドー【O&P】
	フェンシング【O】 ※
アクアティクスセンター	水泳（飛込）【O】 ※
	水泳（競泳）【O】
	水泳（シンクロ）【O】 ※
	水泳（パラリンピック）【P】
東京辰巳国際水泳場	水泳（水球）【O】 ※
青海アーバンスポーツ会場	スポーツクライミング【O】
	バスケットボール（3×3）【O】 ※
有明BMXコース	自転車競技（BMXレーシング）【O】
	自転車競技（BMXフリースタイル）【O】
	スケートボード【O】 ※

10. 第二次発注競技 (2パッケージ/2会場/2競技)

会場名	競技名	※はIF/NF主催を想定。
さいたまスーパーアリーナ	バスケットボール【O】	※
サッカー会場	サッカー【O】	※

1 1. 第三次発注競技 (7パッケージ/10会場/15競技)

会場名	競技名 ※はIF/NF主催を想定。
陸上自衛隊朝霞訓練場	射撃【O】
馬事公苑	馬術（総合馬術）【O】
海の森クロスカントリーコース	
新国立競技場	陸上競技【O&P】 ※
東京体育館	卓球【O】 ※
国立代々木競技場	ハンドボール【O】 ※
	パラバドミントン【P】
	ウィルチェアラグビー【P】
有明体操競技場	体操（体操）【O】 ※
	体操（新体操）【O】 ※
	体操（トランポリン）【O】 ※
	ボッチャ【P】
有明アリーナ	バレーボール（インドア）【O】 ※
海の森水上競技場	カヌー（スプリント）【O&P】
	ボート【O】 ※
カヌー・スラローム会場	カヌー（スラローム）【O】

12. 第四次発注競技 (13パッケージ/15会場/17競技)

会場名	競技名	※はIF/NF主催を想定。
釣ヶ崎海岸サーフィン会場	サーフィン【O】	
江の島ヨットハーバー	セーリング【O】	
伊豆ベロドローム	自転車競技（トラック）【O】	
伊豆マウンテンバイクコース	自転車競技（MTB）【O】	
日本武道館	柔道【O】	
	空手【O】	
国技館	ボクシング【O】	
お台場海浜公園	マラソンスイミング【O】	
潮風公園	バレーボール（ビーチ）【O】	※
東京スタジアム	7人制ラグビー【O】	※
	近代五種【O】	※
武蔵野の森総合スポーツプラザ	バドミントン【O】	※
	テニス【O】	※
有明テニスの森	テニス【O】	※
大井ホッケー場	ホッケー【O】	
アーチェリー会場 （夢の島公園）	アーチェリー【O&P】	
霞ヶ関カンツリー倶楽部	ゴルフ【O】	※
野球会場	野球・ソフトボール【O】	※

1 3. 第四次発注スケジュール（案）

5月22日 経営会議

5月31日 調達管理委員会

6月中旬 第四次発注 案件公表

8月中旬 受託者決定